

「～ハラスメント」に対応する中国語

— “～騷擾”、“～歧視”、“～霸凌”、“～虐待”、“～暴力”を中 心に—

王敏東

台湾科技大学応用外国語学科 教授

李靖誼、張庭瑜

台湾科技大学応用外国語学科 学部生

要旨

本研究は「～ハラスメント」に対応する中国語“～騷擾”、“～歧視”、“～霸凌”、“～虐待”、“～暴力”について検討するものである。具体的には辞書、論文、新聞記事から用例をあつめ、この5つの言葉の品詞、意味、用法、および造語力について探究する。調査結果により、“暴力”の造語力が最も強いこと、“暴力”の意味範疇が“騷擾”より広いこと、などが明らかになった。また、自動詞の“暴力”について、人+“暴力”という構造における人は暴力を振るう人であるのに対して、人+“歧視”、人+“虐待”という構造における人は差別や虐待を受ける人である、という傾向も判明した。本研究の調査結果を日中両言語における翻訳や、台湾人日本語学習者・日本人中国語学習者に役立てたい。

キーワード：翻訳、造語力、語構成、“～騷擾”

「～ハラスメント」對應之中文詞彙

—以“～騷擾”、“～歧視”、“～霸凌”、“～虐待”、“～暴力”為中心—

王敏東

臺灣科技大學 應用外語系 教授

李靖誼 張庭瑜

臺灣科技大學 應用外語系 學生

摘要

本研究探討「～ハラスメント」可對應之中文表現“～騷擾”、“～歧視”、“～霸凌”、“～虐待”、“～暴力”，主要由辭典及論文、新聞報導等標題中蒐集用例，比較這五個詞的詞類、意義、用法及造詞能力等。結果得知可作普通名詞的“暴力”造詞能力最強，中文的“騷擾”範圍不及“暴力”範圍大。另外，可作不及物動詞的“暴力”在大多人+“暴力”結構中的人是施暴的動作主，與人+“歧視”、“虐待”結構中的人大多是歧視、虐待等的受害者有所不同。希望本研究研究結果能提供日中翻譯及臺灣人日語學習者和學習中文的日本人作為參考。

關鍵詞：翻譯、造詞能力、構詞、“～騷擾”